

グラフで見る関西経済(2023年5月)

2023年5月29日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断～足踏み状態となっている

【今月のポイント】

- 関西経済は、足踏み状態となっている。
- 3月の生産は2カ月連続で前月比で増加したが、均してみると足踏み状態となっている。電子部品デバイス、汎用・生産用・業務用機械が前月比で増加したが低水準にとどまっている。
- 4月の実質輸出は前月比+1.9%と2カ月ぶりに上昇したが、足踏み状態。
- 個人消費は、コロナ感染の行方、物価上昇などが懸念されるが、ウィズコロナの定着により持ち直しの動きがみられる。自動車販売も、コロナ前を下回る水準ではあるが、持ち直しの動きがみられる。

項目	現状
景気全般	足踏み状態となっている
生産	足踏み状態となっている(↑)
輸出	足踏み状態となっている(↑)
設備投資	持ち直している
雇用	持ち直しの動きがみられる
賃金	持ち直しの動きがみられる
個人消費	持ち直しの動きがみられる
住宅投資	持ち直しの動きがみられる(↑)
公共投資	横ばい圏で推移

注: ()内は前月からの変化の方向

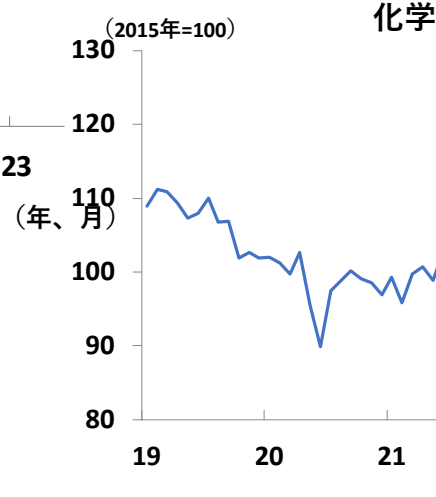
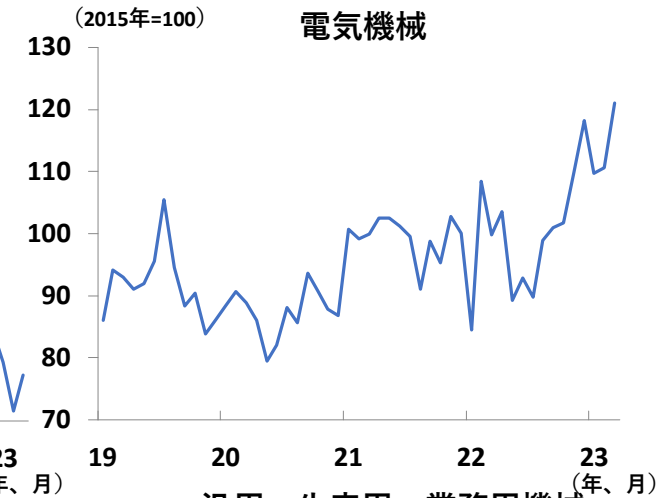
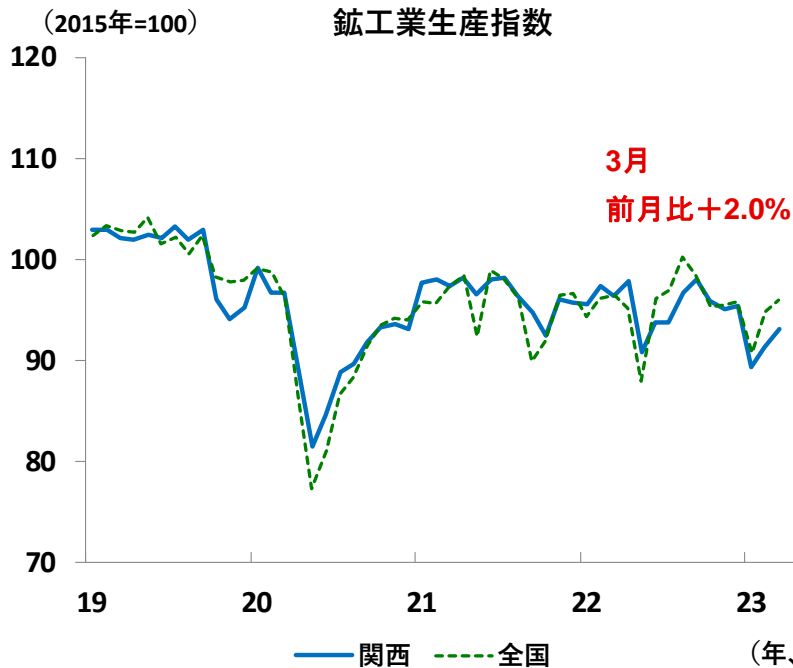
生産は、「弱含んでいる」から上方修正(↑)

輸出は、「弱含んでいる」から上方修正(↑)

住宅投資は、「横ばい圏」から上方修正(↑)

生産

3月の鉱工業生産(関西)は前月比+2.0%と2カ月連続で増加、均してみると横ばい圏で推移している。業種別では、電気機械、化学が増加傾向。電子部品デバイス、汎用・生産用・業務用機械は、3月は増加したものの水準はまだ低い。

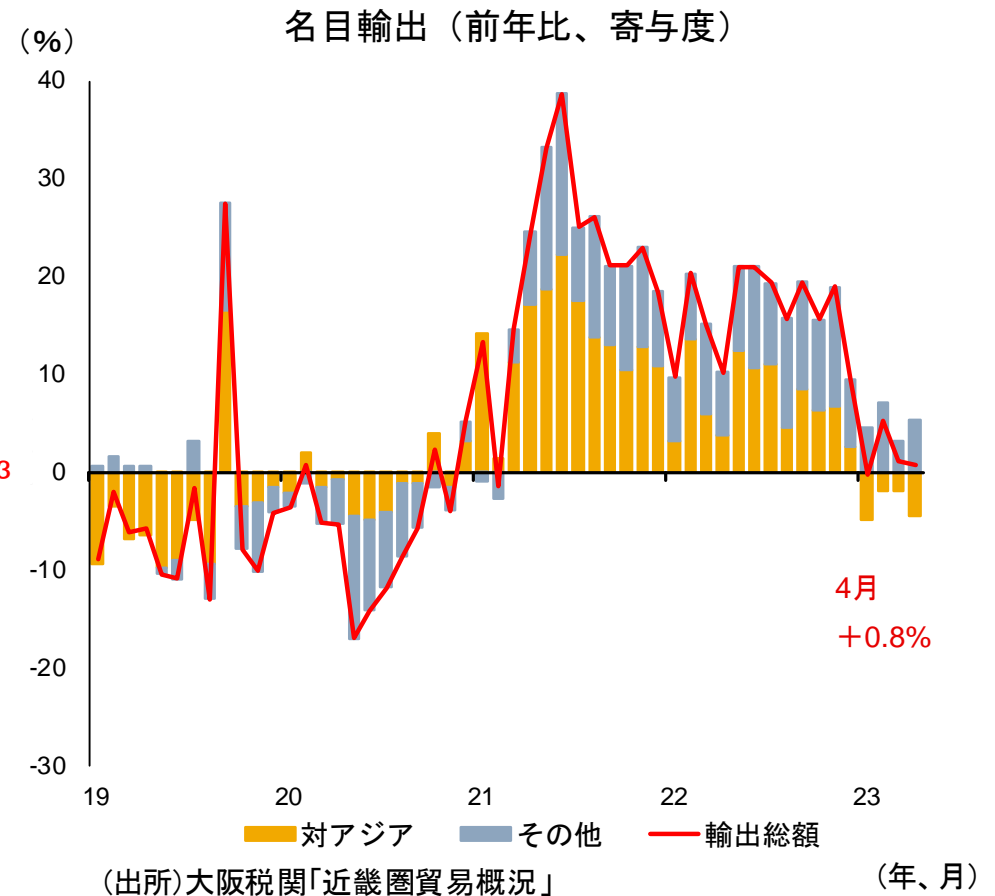
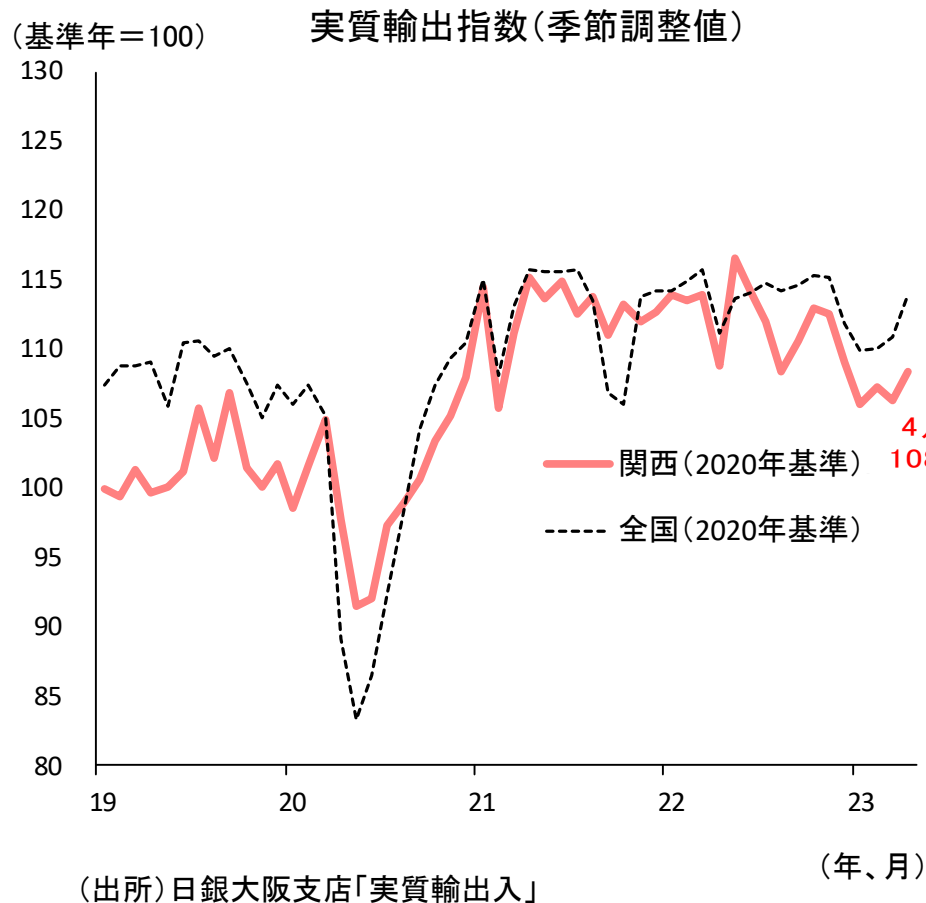


(出所)経済産業省「鉱工業生産動向」

輸出

4月の実質輸出(季節調整値)は、前月比+1.9%の108.3と2ヵ月ぶりに上昇したが足踏み状態。

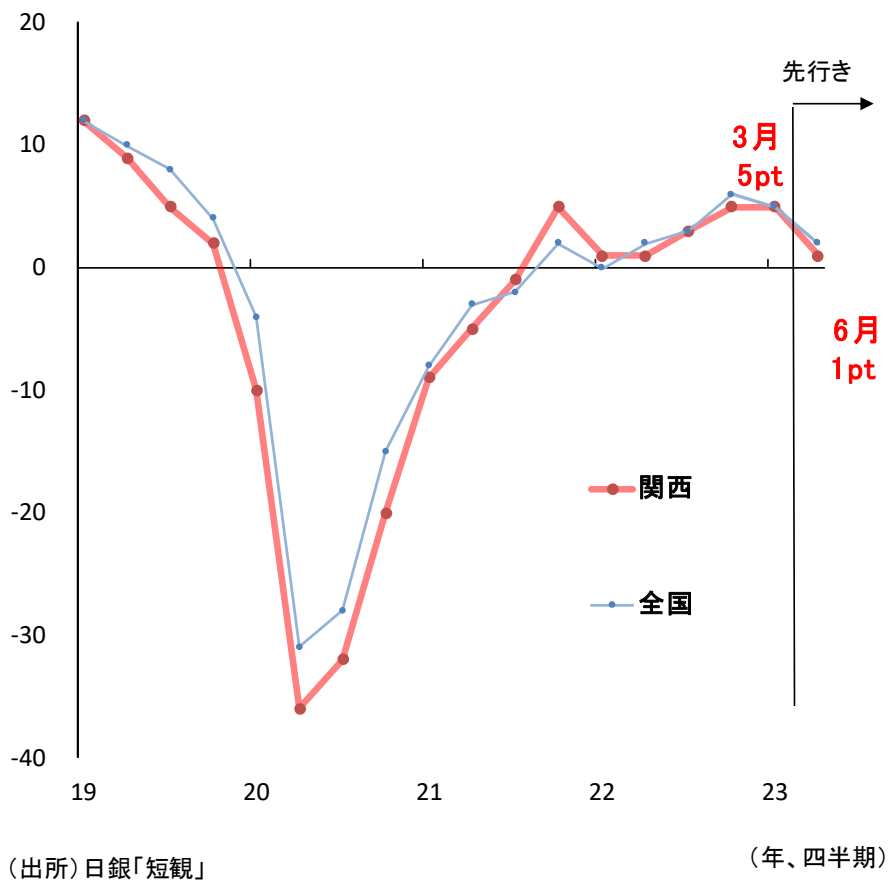
名目輸出額(4月)は3ヵ月連続で増加。地域別では、アジア向けの減少が続いたが、米国、EUなどその他地域が増加した。品目別では遊戯用品、医薬品などが増加した。



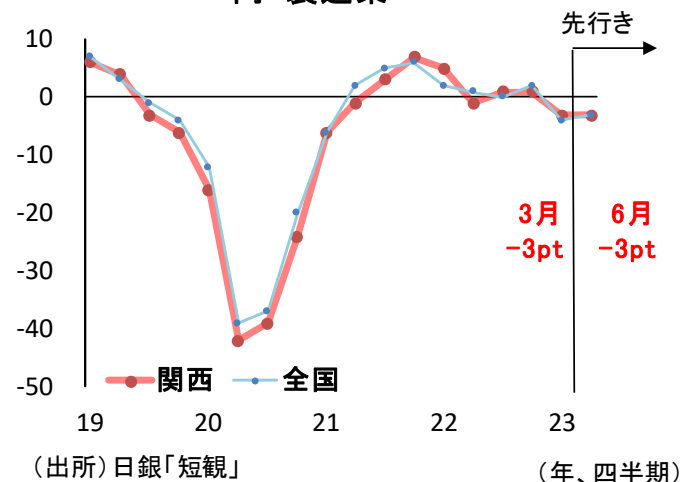
企業景況感(日銀短観) ※以下は4/3公表の3月調査。6月調査は7/3公表予定

日銀短観3月調査の業況判断DIは、全産業で+5ptと12月調査から横ばい。海外経済減速等の影響で製造業は悪化し、ウイズコロナの定着、インバウンド回復もあって非製造業は改善した。先行き(6月)については、製造業は横ばい、非製造業は悪化が見込まれている。

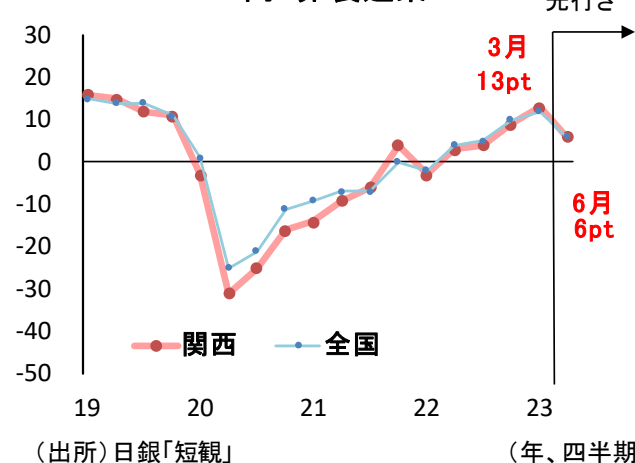
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業

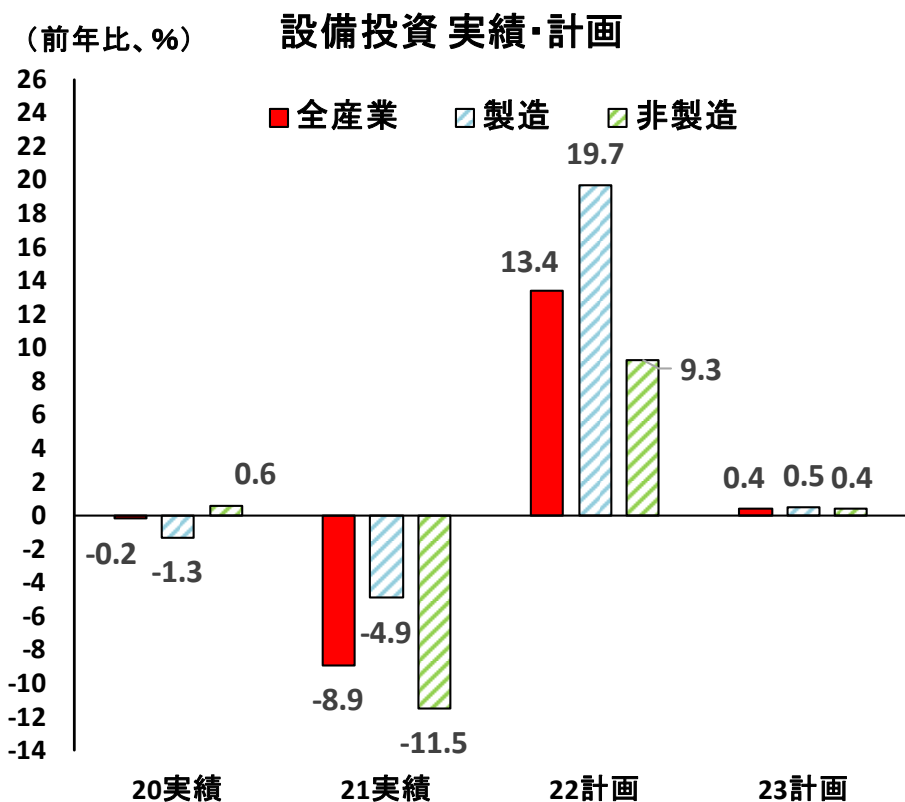


同 非製造業



設備投資※以下は4/3公表の3月調査。6月調査は7/3公表予定

日銀短観3月調査によると、22年度の設備投資は前年比+13.4%と、12月調査から下方修正となったが2桁増の高い伸びを見込んでおり、持ち直している。23年度については、3月調査ということもあり、ほぼ前年度並みの計画となっている。



設備投資額(前年比%)

	21年度実績	22年度計画		23年度計画
		今回調査 (前回調査との差異)	前回調査	
全産業	-8.9	13.4 (-2.5)	15.9	0.4
製造業	-4.9	19.7 (-4.3)	24.0	0.5
非製造業	-11.5	9.3 (-1.3)	10.6	0.4

(出所)日銀大阪支店「短観」

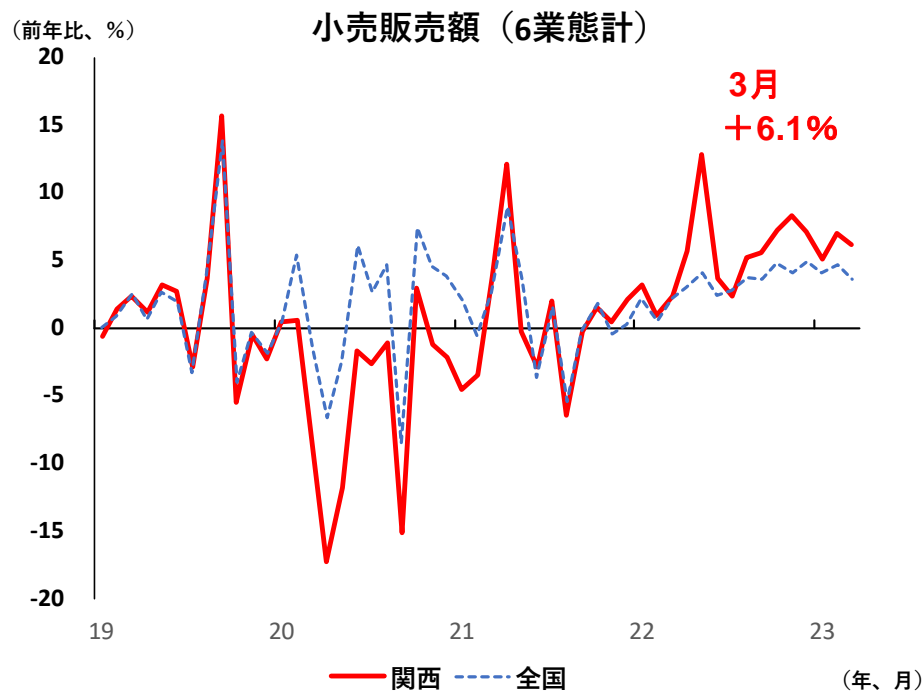
(注)設備投資は、含む土地投資額

(年度)

個人消費(小売売上、自動車販売)

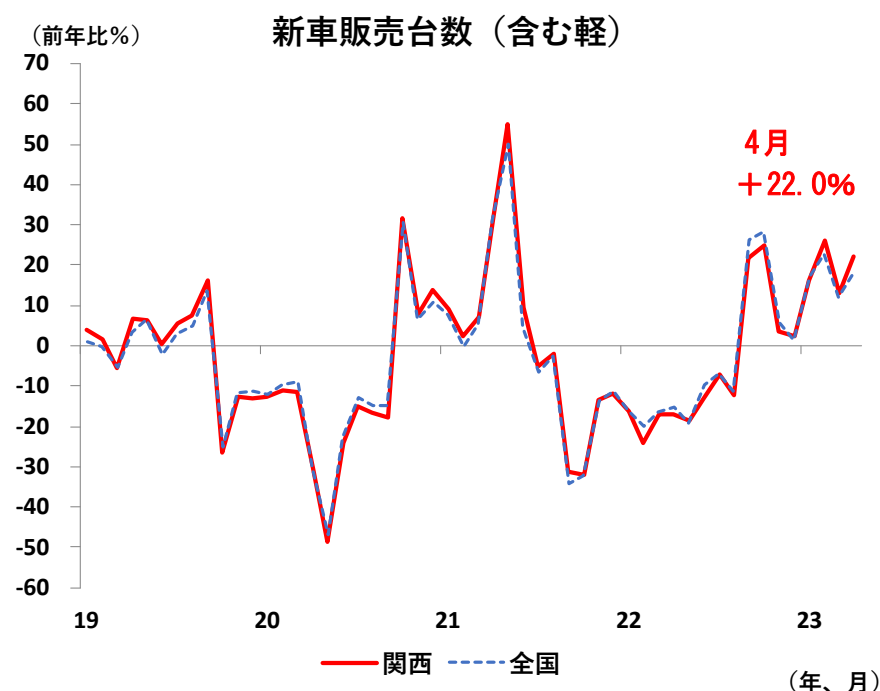
3月の小売販売額は前年比+6.1%と18ヵ月連続で増加した。先行きは、物価上昇の影響が懸念されるが、ウィズコロナの定着により持ち直しの動きが続くとみられる。

4月の新車販売は、前年比+22.0%と8ヵ月連続で増加。水準はコロナ前を下回るものの、持ち直しの動きがみられる。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

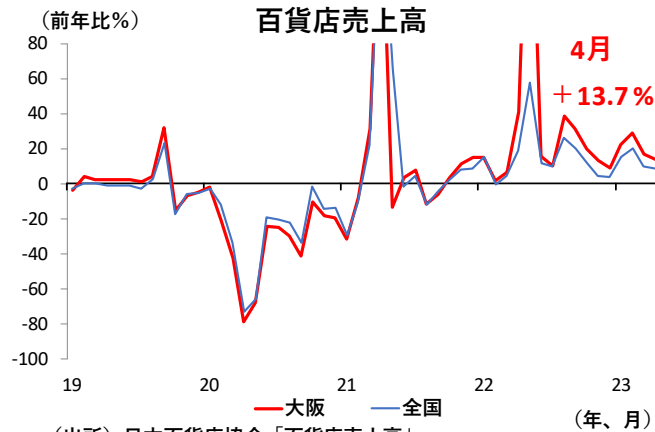


(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

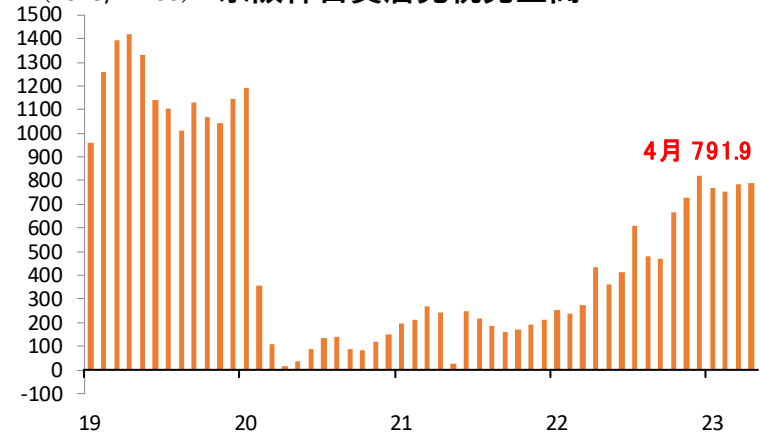
4月の百貨店売上(大阪)は前年比+13.7%と19ヵ月連続で増加した。京阪神百貨店免税売上指数は、入国制限の緩和以降水準を上げ、4月は791.9とコロナ前のピーク(19年4月の1419.6)の半分強まで戻しているが、このところ横ばいとなっている。



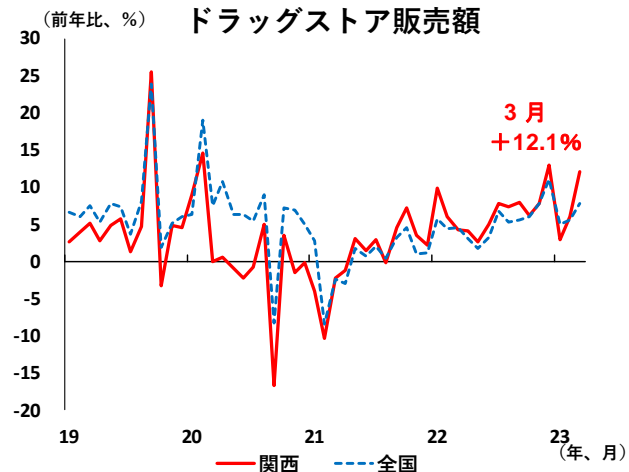
(出所) 日本百貨店協会「百貨店売上高」

(注) 店舗調整後前年比

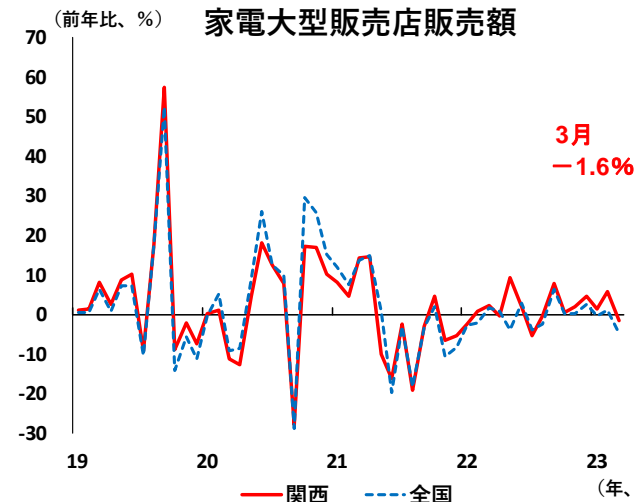
(2013/4=100) 京阪神百貨店免税売上高



(出所) 日銀大阪支店「百貨店免税売上(関西)」



(出所) 経済産業省「商業動態統計」



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

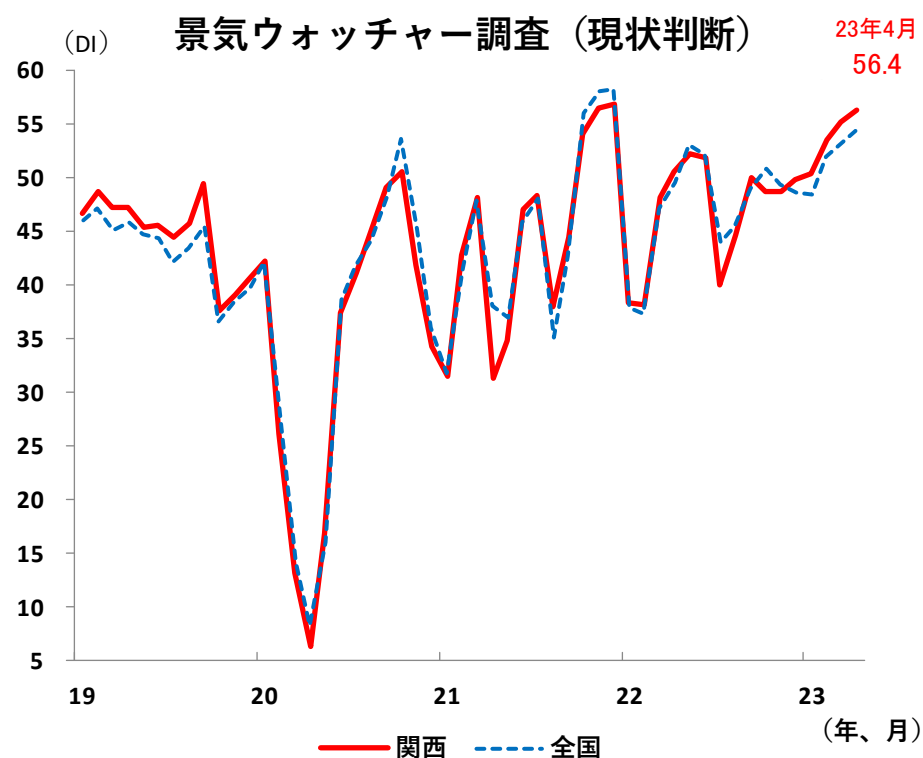
マインド・景況感

4月の消費者態度指数(季節調整値)は36.3と5カ月連続で上昇した。

4月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、56.4と5カ月連続で上昇。横ばいを示す50を4カ月連続で上回った。インバウンドの増加、コロナ感染の落ち着きが押し上げに寄与した。



(注)関西の季節調整値はMURC試算
(出所)内閣府「消費動向調査」

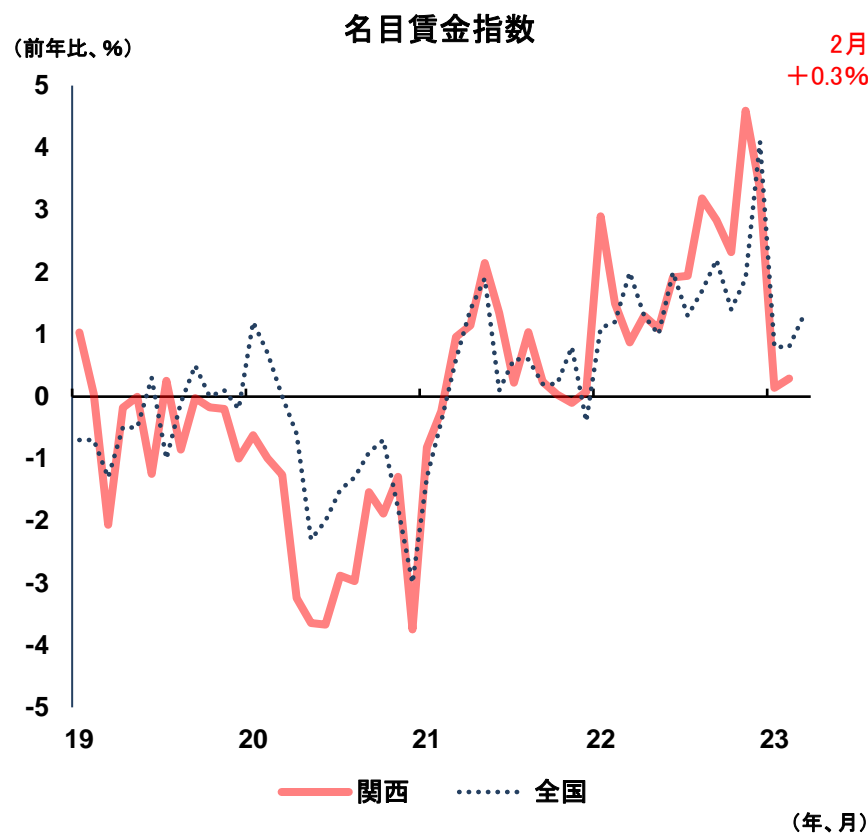


(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

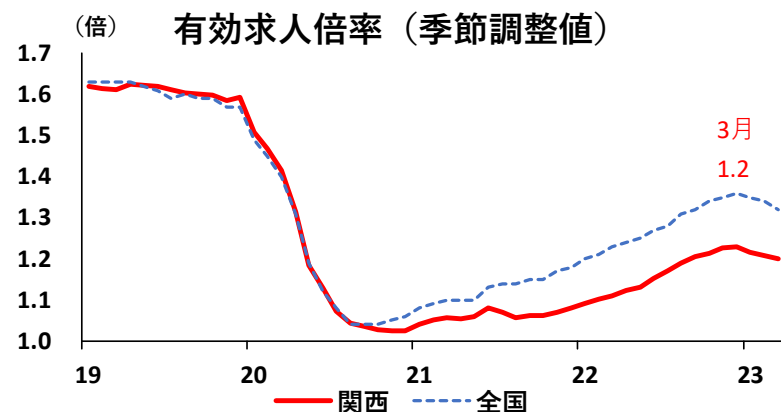
賃金・雇用

2月の名目賃金指数は前年比+0.3%と小幅ながら15カ月連続で増加。

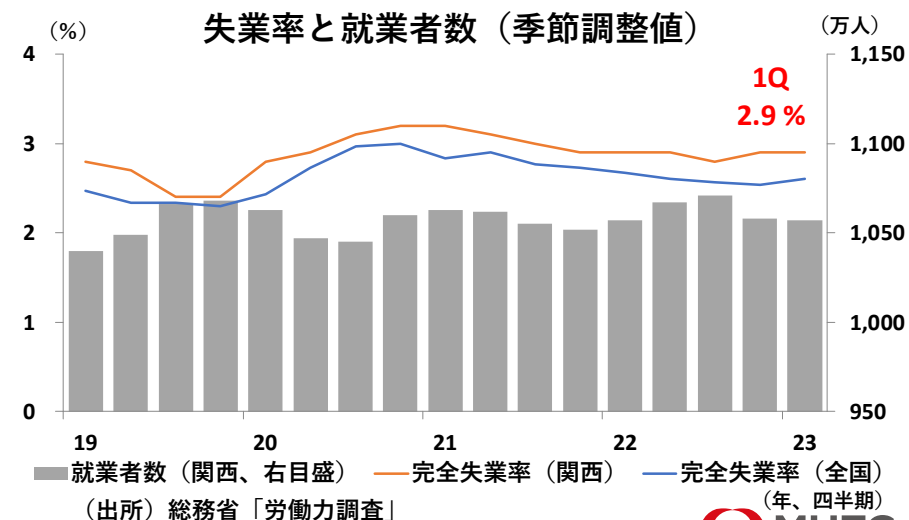
3月の有効求人倍率は1.2倍と前月とほぼ同水準。全国に比べ求職者数増加の度合いが高く、求人倍率は低めで推移している。23年1-3月期の失業率は2.9%と前期から横ばい、就業者数もほぼ横ばいとなった。



(注) 関西2府4県の名目賃金指数を常用労働者数で按分し合成したもの、MURC試算
(出所) 厚生労働省、各県「毎月勤労統計」

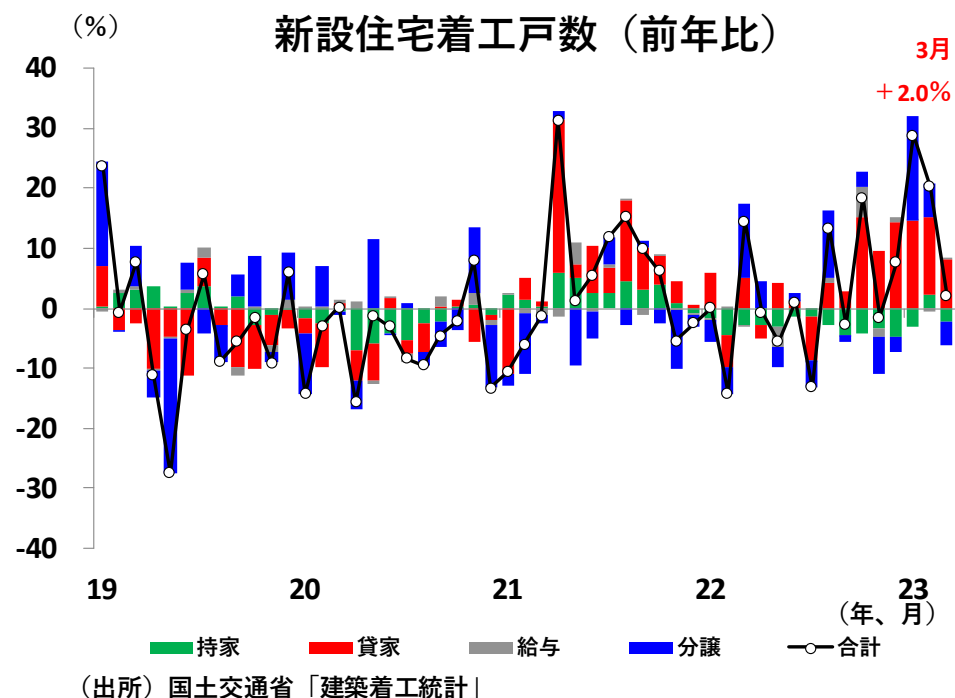
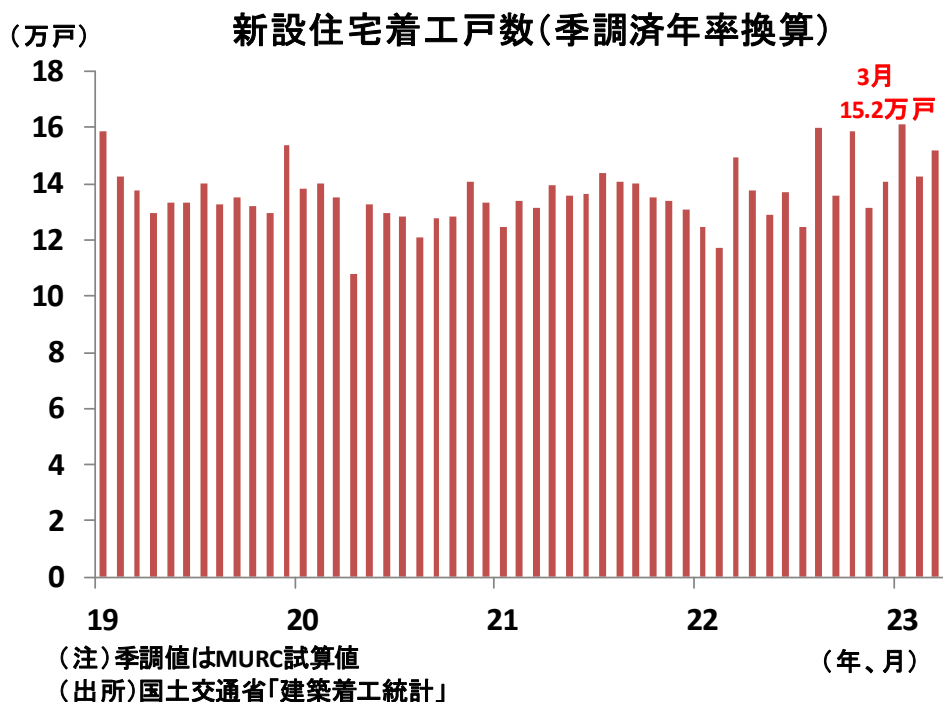


(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



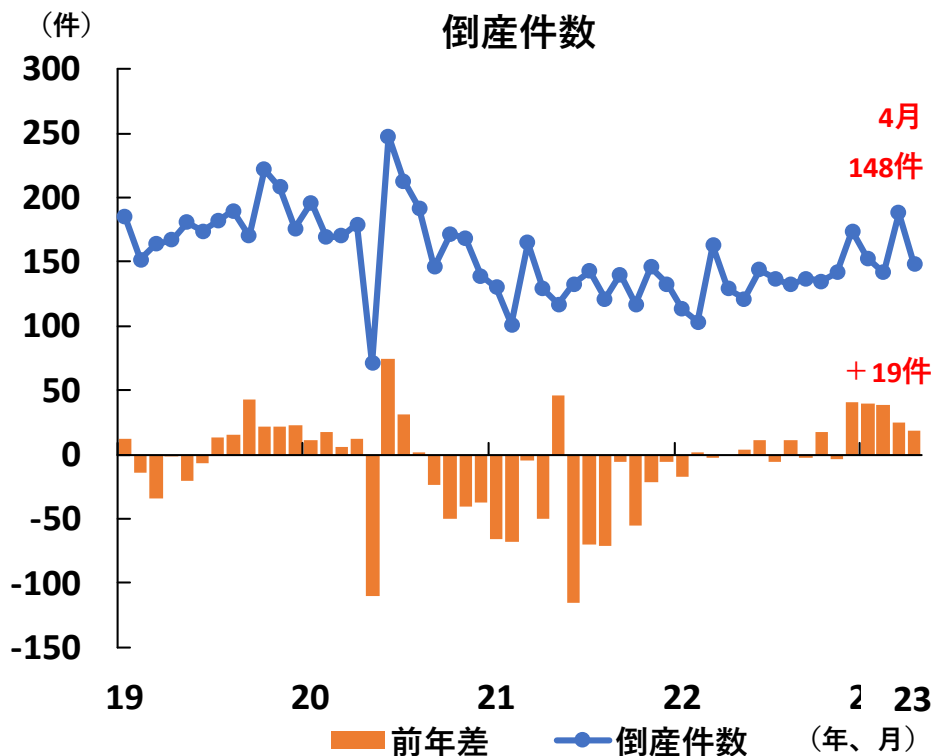
住宅投資

3月の住宅着工は季調・年率15.2万戸と2ヵ月ぶりに前月比で増加。前年比では、持家、分譲が減少したが、貸家が増加し、全体で+2.0%の増加となった。



倒産

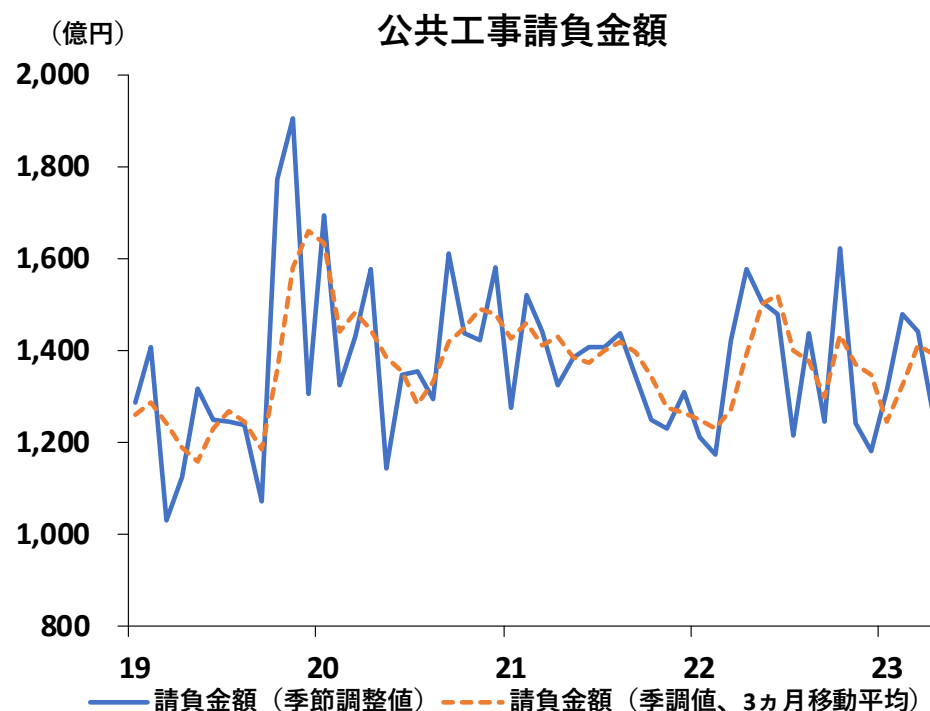
4月の倒産件数は148件と前年から19件増加。このところ前年からの増加が続いている。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

4月の公共工事請負金額は季節調整済前月比で2ヵ月連続減少。均してみると横ばい圏で推移している。



(注) 季調値はMURC試算

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

- ご利用に際して -

- 本資料は、執筆時点で信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡ください